

03 安全安心のまちづくり

災害への備えをはじめとして、さまざまな脅威から市民の生命と財産を守るため、安全安心のまちづくりに取り組みました。

●コミュニティセンターの整備

老朽化が進んでいる西部コミュニティセンターについて、さらなる利用者の利便性向上や地域コミュニティの活性化を図るため、改修整備などに着手しました。

また、庭窪コミュニティセンターの供用開始に向けて、運営に必要な備品などを購入しました。



●新たな公園整備

平時は憩いの場、災害時には一時避難場所ともなる新たな公園整備を進めました。

弥治右衛門碑前公園
3月31日リニューアルオープン



佐太陣屋公園
2月27日オープン



04 魅力あふれるまちづくり

若い世代をはじめ、市内外の多くの人が守口市の魅力を感じられるまちづくりに取り組みました。

●大阪・関西万博への出展

大阪・関西万博では、大阪府市万博推進局を中心に、府内市町村や民間事業者と連携し、国内外から訪れる来場者に対して、守口市の魅力を発信しました。



●守口市駅北側(旧桜町団地周辺)の活性化

市全体の都市イメージの向上に資する守口市駅前周辺のまちづくりに向けて、旧桜町団地とその周辺を主な区域として、再整備の実現可能性に関する調査・検討を行いました。

●守口市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定

2050年脱炭素社会の実現に向け、市民・事業者・行政が一体となって推進する地球温暖化対策の具体的な目標や施策、取り組みを定める「守口市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」を策定しました。



05 さらなる市民生活の支援と地域経済の活性化

市独自の物価高騰対策として、市民や市内事業者の経済的支援に取り組みました。

●守口市くらしの応援商品券の発行

物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を支援するため、市内全世帯に、市内各店舗で利用できる独自商品券「守口市くらしの応援商品券」を発行しました。
全世帯：1世帯あたり4,500円分



令和7年度 主要施策の取組実績

令和7年度に実施した主要施策について、主な取り組み実績を紹介します。

問企画課 TEL 06-6992-1404

01 未来への投資促進

子育て世代をはじめとする若い世代の定住促進を図り、活気あふれるまちづくりを実現するため、未来への投資促進に取り組みました。

●障がい児保育のさらなる充実

私立認定こども園などの障がい児の入園などを円滑にするとともに、集団保育を実施することにより、障がい児の福祉の増進を図るため、従事する加配の保育教諭などの人件費の補助額を引き上げ、障がい児保育のさらなる充実を図りました。



●認定こども園整備への助成

令和7年4月1日に民間移管した認定こども園(旧市立外島認定こども園)について、保育ニーズの増加に伴い、受入定員の拡大を図るため、施設整備に係る費用の一部を助成しました。



●母子保健の充実

出産前後における母子への支援を充実するため、令和7年4月1日以降に生まれた新生児を対象とした新生児聴覚検査費助成事業、同日以降に出産した産婦を対象とした産婦健康診査補助事業および多胎児を妊娠している妊婦を対象とした多胎妊婦健康診査補助事業の3事業を実施しました。



●離婚前後における家庭への支援

離婚後もこどもが心身ともに健やかに育成されるよう、共同養育に対する理解促進を図り、養育費の支払いや親子交流に関する取り決めに促進するため、養育費に関する調停等費用支援補助事業および養育費に関する公正証書作成支援補助事業を実施しました。



●土曜日学習の拡充

これまで、塾などに通っていない小学校などの5・6年生および中学校などの1～3年生に、児童生徒の学習習慣の定着と学力向上を目的として、民間活力を活用し、全校で実施している土曜日学習会を、令和7年度は、中学校などの定員を286人(70人増)に拡充しました。



●新たな学校整備

施設の老朽化や児童、学級数の増加に対応するため、新たな学校・校舎の整備などに取り組みました。
対象…さくら小学校など



02 健康寿命の延伸

高齢者が生きがいを持っていつまでも健康で元気に暮らせるよう、健康寿命の延伸に取り組みました。

●介護予防教室の拡充

介護予防や健康増進に向けた取り組みを通じて、自立して元気に過ごせる健康な高齢者を増やすことを目的に、地域包括支援センターとリハビリ専門職による介護予防教室を定期的に開催しています。令和7年度は、開催回数を174回(令和6年度実績)から287回に増やして実施しました。



●がん患者の社会参加を支援

がん治療によるアピアランス(外見)の変化を受けた人に、それを補完するウィッグや乳房補整具の購入費の一部を助成する事業を実施しました。

